

高木陽春×小樽 TAKAGI HIHARU OTARU Photo Exhibition

続・みち／ヒカリ

眼には見えない何かにみちびかれ、
再び向かったのはとある岬でした。
そこに在ったものは一体何だったのだろうか。
これは私が歩いた小樽の記録であり、
現在も古い過去も、未だ見ぬ未来も存在しているような
そんな異空世界が写ってあれば嬉しい限りです。

高木陽春

小樽に導かれたその先に
2026年 1.24 (土) — 3.22 (日)



ご好評につき、
再展示
開催決定!

立木義浩 (写真家)

彼が小樽全体を眺めて統一していこうと言う求心力ではなく、
足を棒にしながら撮り続けた遠心力に脱帽です。

観覧料 一般 700(560)円/高校生・市内高齢者350(280)円
中学生以下無料 () 内は20名以上の団体料金
※2階企画展示室、3階一原有徳記念ホールも併せてご覧いただけます。

会場 市立小樽美術館・1階中村善策記念ホール

休館日 毎週月曜日(ただし2/23を除く)、
2/12・24・25

開館時間 9:30-17:00 (入館は16:30)

主催: 市立小樽美術館
協賛: 市立小樽美術館協力会



市立小樽美術館
otaru city museum of art